

小須戸公民館報

町館 戸民 須公 小中 須央 発行所
発行人 岡 謙 吾
発行日 毎月 15 日

学ぶ喜び、生きる喜び

一日々新面目あるべし

県立新潟南高等学校長 渡辺恒美



中央公民館鳥居教室のみなさん。3年間の教室で技術と作る楽しさ、そして仲間の大切さを学びました。もうすぐ4月、新期教室は三月に募集します。

新しい自分をつくる

後年、新潟市名誉市民となり、歌人・書家また東洋美術史の学者でもあった会津八一は、三十三歳の大正三年(一九一四年)に、越後から東京に来ていた書生たちに学規四則をつくって、部屋の壁に貼って示した。

学規

ふかくこの生を愛すべし
かへりみて己を知るべし
学芸をもって性を養ふべし
一日々新面目あるべし

「日々新面目あるべし」というのは、毎日毎日、新しい顔を持つべきであるというのである。面目(めんもく)とは顔つきとか物事の様子とかをいう。それがさらに世間の人に対する顔、世間の高い評価という意味にもつかわれるようになったものである。

生きる支えは創造の喜び

さて、自分の内面についていうなら、学ぶ喜びも生きる喜びも、昨日とは違った自分を作っていくところにあるのではないか。昨日までの自分に今日新たに新しく善いもの、すぐれたものを付け加えてゆく。これまでも自分が持っている知識や能力や個性を生かし、その上にさらに、自分なりに新たな善いものを付け加えることによって自分を豊かにする。つまり「自己の実現」を一日一日と進めてゆくということである。

人間には誰しも自分の能力を発揮させ、これまでより一段上の人格を目指し、最も善い自分になろうとする気持ちがある。学問、芸術、趣味、スポーツなど何であれ、昨日の自分より進歩、向上が認められるとき、喜びを感じる。仕事や趣味や社会活動のなかで、自分の能力や個性が生かせるなら、それはすばらしいことと感ぜられるのは、

ろ。(体面、名譽の意味の場合)はめんぼくということが多い。いずれにしろ、顔つき、様子からその人における人間のすべて、知識、思想、考え方、態度、行動の仕方、ことばの使い方、個性、特技などなど、その人のそなえているものすべて、その何かしらを日ごとに新しくしてゆく。そのことに努力してつとめよ、ということであろう。自分自身の人間を昨日と違つた今日に、また今日から明日へ、一日一日と新しく変えてゆく、自分を成長させ、豊かにさせてゆく、そのことが大切であるということであろう。

ちよこつと一言 (71)

「私が思うには」

私は、スポーツ大好き人間の一人です。毎年ナイター野球仲間と共に参加し、楽しくスポーツ公園を使わせてもらっています。しかし、スタンドが欲しいとは言いませんが、折角何億という予算を使って野球場を作ったのですから、せめて公認が取れる野



横川 吉田和幸 さん

球場にしてもらいたかったと思います。そうすれば、もっと幅広い利用も可能になったのではないのでしょうか。ちよつと残念です。そこをお願いです。これから何施設を作る機会がありましたら、いろいろな方から意見を聴き、それぞれの部門で検討して意義ある施設づくりを目指してもらいたいと思います。

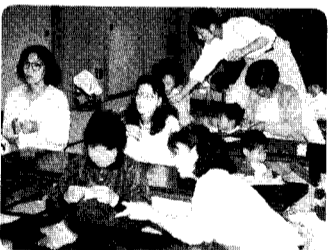


親子での活動も大切です。

乳幼児家庭教育サークル

つくしんぼ閉級

平成五年度の受講者二十三名中、十六名のお母さんに、終了証書が授与されました。今年度は、「子供のこと」や「おじいちゃん、おばあちゃんのこと」、「子育てのこと」の話し合いと折り紙ランド(文化祭に展示)を作成しました。又、自由ノートを準備し、お母さん方からの意見や日頃のこ



えほんをよめるのは

とつてもたのしいね!!

きょうはね、えほんをかりていくひなんだよ。みんなのおかあさんたちがおひるにようちえんをきてくれて、みんなにえほんをかしてくれるんだよ。このえほんはね、みんなのおとうさんとおかあさんたちがおかねをだしてあつてかってくれたえほんよ、こうみんかんのえほんがあるんだ。ひやくこじゅつさつもあるんだ。まいつきにかいかりれるんだけど、みんなえほんのひをとつてもたのしみにしてるんだ。だからえほんのひはみんなあさからうきうきしてね、じかんになるとみんはなはしゃいで、もうにぎやかですごいんだ。えほんをうちにもつてかえつてね、おとうさん、おかあさんおじいちゃんやおばあちゃんといっしょによむと、とつてもおもしろいんだよ。えほんでとつてもたのしいね。あつ、もうえほんのかしだしのじかんだ。このまはえほんばいばい。みんなにしようつと。はやいかなきゃ、もうみんないっちゃった。みんな、たくさんえほんをよもうね。じゃ、ばいばい。



「たくさん読んでね。」うん。

読んでつくする豆知識

カスレンジ皿の汚れは卵の殻でヒカヒカに
煮汁や油がこびりついた受皿は、スポンジに洗剤をつけ、その上に細かくくだいた卵の殻をのせて磨けばピカピカになります。

鬼は外 福は内

小須戸幼稚園・小須戸保育園・矢代田保育園の三施設で二月三日(木)盛大に豆まきがおこなわれました。昔、四季の気候の変わり目を節分といっていました。立春の前日の節分だけが残り、また、新しい春を希望をもって迎えるたい気持ちのあらわれだと言われています。鬼に仮装した先生方も大ハッスルでした。みんなががんばったネ!!

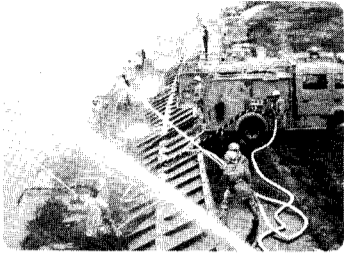


幼稚園の豆まき

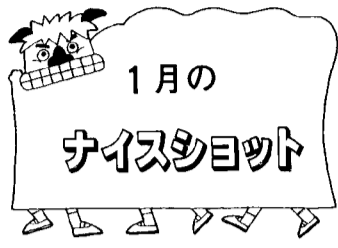
- #### 第十三回新春ソフトテニス 小須戸大会終了
- 一月九日(日)町民体育館で第十三回新春ソフトテニス小須戸大会が開かれました。七校の女子選手が集い、熱い戦いが繰り広げられました。
- #### 大会成績
- (敬称略)
一位 田中・斉藤組(東石山中)
二位 小堀・永島組(二葉中)
三位 坂井・神林組(小須戸中)
谷川・富山組(白根一中)

公民館報をお読みになってのご意見・ご感想をお寄せ下さい。尚、裏面の「これは言いたい」と「我が家の宝物」の投稿もお待ちしております。(ご連絡下されば担当がお伺いします)連載にご投稿下さった方に粗品を差し上げたいです。

〈宛て先〉 小須戸町若葉町二丁目
小須戸町中央公民館内
館報編集事務局



6日 消防出初め式。消防車の一斉放水、見ごたえ充分!



1月の ナイスショット



28日 生きがい講座
自分自身の健康をよく考えてみまーす。



14日 おもしろ雑学講座
へへ、そーやんかね。タメなるわ。



12日 小須戸小学校書き初め大会

恒例の新春書き初め大会が一月十二日小須戸小学校・一月十四日矢代田小学校の両校でおこなわれました。
小須戸小学校体育館では、佐藤校長先生の指導で静寂の中、生徒たちは集中して筆を動かしていました。写真を撮るのが申し訳ないと思つたくらい、緊張感に溢れていました。
又、矢代田小学校体育館でも全員、齊に先生方の指導のもと、一生懸命取り組んでいました。



14日 矢代田小学校書き初め大会

小須戸小学校 矢代田小学校 新春書き初め大会 ものすげ、きんちようしたなあ



リングプル収集状況
2月1日現在
136.5 kg

「おもしろ雑学講座」案内

老連おたのしみ会
期日 二月二十日(日)
午前九時三十分開会
会場 中央公民館三階ホール
主催 小須戸町老連

健康教室
期日 二月六日(日)
午後一時二十分から二時
会場 中央公民館 階会議室
内容 骨粗鬆症
主催 小須戸町連合婦人会

第十七回ボケ展示会
(第三回アマチュア作品展)
同時開催
期日 三月四日(金)から
六日(日)まで
午前九時から午後五時まで
但し、六日は午後四時まで
会場 町民体育館
※ボケ酒の試飲もおこないます。
主催 日本ボケ協会・小須戸町

老連輪投げ大会
期日 三月六日(日)

役場よりお知らせ
「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知

「お年寄りの介護者のつらい」
のお知らせ
の告知



(昭和48年)



(現在)

小須戸町中央公民館

昭和50年の春まで公民館は現在の商工会館の位置にあった。その右側に見える木造の建物は商工会である。現在の建物は昭和50年6月、当時の経費で2億2千万円で建設された。
(こすどまち今昔写真展は今回をもちまして終了します。)

こすどまち今昔写真展 (32)

図書寄贈御礼
諏訪町 田中三郎様
水田 佐藤一男様
ありがとうございます。

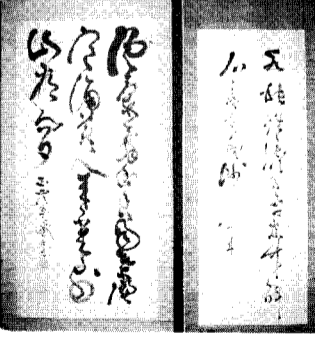
「ふれあい会館図書」
学校 松崎運之助
月下の剣法者 伊藤 桂一
知事の背信 日報報道部
蔵(上・下) 宮尾登美子
大地の子(上・中・下) 山崎 豊子
湖水の疾風(上・下) 竜門 冬二
マインソンの橋 R・ウオラー
貧乏は正しい! 橋本 治
絆 家田 莊子
深い河 遠藤 周作
朱鞠安兵衛 津本 陽
日本をダメにした9人の政治家 浜田 幸一
恋忘れ草 水原重似子
他五冊

我が家の宝物 (4)

海舟・鉄舟・直筆の掛軸



何回もテレビ(勝海舟・山岡鉄舟・高橋泥舟)ドラマで登場するのうち、勝海舟の掛軸と山岡鉄舟の幕末の三舟 太郎推号鉄舟の二幅が我家に舞



込むとは……
不思議な因縁に驚いています。鉄舟が大正元年に、そして海舟は昭和三十四年に、あなたも鉄舟を訪ねるように我家に入り込みました。
当時、勝海舟の書であることなど全然知らずに十五年間も床の間に掛けて眺めておりました折、日報の新津支局長渋谷さんが漢字の大家で長岡の小林安治先生を紹介して下さいました。

文芸欄

川柳
天猿の仲へのつびきならぬ義利 高橋ただし
飼主に併せて犬が散歩する 我妻清作
賀状から手描きの犬のコンクール 松沢キヨ
青春の波紋を探す犬と駆け 藤井春江

歌
登りゆく山路の凹凸地下足袋の裏より伝わる 吉田久次
五体のすみま 吉田久次
小窓より灯りもれきて和らげり雪に埋もれし 村山文字
かやぶきの家 村山文字
冬の夜の窓の明りに輝きし白き粉雪とめどなく舞う 鈴木ハナ
舗装路に弾む利那を踏みゆく花の紋様に 我妻清作
染みたる藪 我妻清作
得も云えぬ味わいありぬ大根と里芋などの 児玉サツ子
含め煮食めば 児玉サツ子

俳句
あやとりに男の子も涙り松の内 藤井れい
住み古りし店に射し入る初明り 花沢いせ子
花ハツ手日向にぎはふ昼休み 荒木愛子
着ぶくれて無邪気に老ひし握手かな 村木リツ
眉の間をひらく心得冬の柿 吉田素糸
鴨射ちを生業として冬帽子 田中美根子
マスク外すややく笑みを交しけり 五十嵐香月
文机に世代の染みや年明くる 間野良遊